

日本共産党

豊島区議団ニュース

発行所：日本共産党豊島区議団 東京都豊島区東池袋1-18-1 豊島区役所内 TEL.(3981)1429 FAX.(3590)4650



左から、森とおる、かきうち信行、儀武さとる、河野たえ子、渡辺くみ子、小林ひろみ、の各区議

新年おめでとう

ですます



昨年の総選挙で、国民は自公政権に退場の審判をくだしました。これは日本の政治にとって前向き

の大きな一歩であり、新しい歴史のページを開くものです。同時に新政

は千名を超えています。企業のリストラ・倒産や商店廃業は歯止めがかかりません。福祉、教育、子育て、中小企業を支援してほしいという声が強くなっています。この声に応え、緊急対策を最優先すべきなのに、区は区民不在のまま新庁舎建設、池袋駅東西デッキ、LRT（路面電車）等の大型開発を優先しています。

保育園の待機児解消を

09年11月現在保育園待機児は200名を超えました。この間、区議団は待機児解消について具体策も提案し、強く求めてきました。12月、区は認可保育園（民間）の誘致も含め5年間で約300名の「受入れ枠拡大」案を発表しました。しかし、年度ごとの具体的な拡大数が不明なこと、保育料値上げを検討することなど問題がたくさんあります。

区民要求実現に全力

日本共産党は、区民要求実現のため引き続き全力をつくします。

来年度予算要望申し入れを行いました

09年12月10日、豊島区議団は区長に対し、10年度予算要望申し入れをおこないました。区議団は区内の様々な団体と懇談を重ね、その中でだされた切実な要望を556項目にまとめたものです。区民生活が本当に厳しい時だからこそ、区は住民の暮らし、福祉を守るといふ自治体の本旨にそった立場で予算編成すべき、と強く求めました。
ホームページもご覧ください <http://www.jcp-toshima.jp>



〈市街地再開発事業による建物イメージ〉
※中低層部が新庁舎

豊島区ホームページより

新庁舎建設計画 問題だらけ

——シンポジウムで明らかに——

豊島区の新庁舎建設はいま、どうなっているのか、何が問題なのか。日本共産党の豊島区議団は16日、専門家をパネラーに招いてシンポジウムを開きました。会場の生活産業プラザには、ほぼ満員の約80人が詰めかけました。
シンポジウムでは、今日の再開発事業が公有地をディベロッパー（業者）に売り渡し、地域から住民を追い出すものであることや、新庁舎建設についての情報が住民に知らされないまま進んでいる実態も明らかになりました。パネリストや参加者からは、区民の合意がない新庁舎建設計画に反対する運動を急いで広げていこうという発言が相次ぎました。

（2頁に続く）

185㎡の超高層ビルに庁舎・マンション

これが住民のための新庁舎？



12月16日庁舎建設シンポジウム

(1頁から続く)

（1頁から続く）
パネルはNPO法人
区画整理・再開発対策全
国連絡会議事務局長の遠
藤哲人さんとハウズイン
グ・ケースワーカー、マ
ンション管理士の千代崎
一夫さん、日本共産党区
議団の河野たえ子団長で
す。

最初に、河野区議が新
庁舎建設計画の経過を報
告しました。そのなかで、
新庁舎建設にかかわる地
区計画・市街地再開発事
業などの都市計画を審議
した都市計画審議会で、
まちづくりの専門家で学
者の委員2人が強硬に反
対。庁舎と分譲マンション
の合築（がっちく）や

「緑」「空間」が狭いと
千代崎さんは、区が「築
47年」の現庁舎は「古い」
発をすすめようとしてい
ますが、住民アンケート
でも3分の1の地権者が
反対しています。

して最後まで反対を貫い
たことを紹介。「かつて
ないこと」と強調しまし
た。この計画が資金問題
や庁舎と分譲マンション
を合築することなど多く
の問題があり、主権者で
ある区民の声に耳を傾け
ずにするめられている、
と反対の立場を明らかに
しました。（別項）

遠藤さんは、市街地再
開発事業がディベロッパ
ーに公有地を売り渡し、
地域住民を追い出すもの
であることを強調。小泉
元首相による「構造改革」
により、国家が庇護する
しくみが法的に作り上げ
られたことが背景にある
と指摘しました。（別項）

（別項）

予定期周辺の南池袋に住
む住民などから「道路整
備はもちろん、まちづく
りをどうするか見えな
い」「結局、この地域に
は住めなくなってしまう
う」などの不安の声が出
されました。区は、周辺
地区でも共同化など再開
発をすすめるのはおかし
い。議会内外で共に頑張
りましょう」（河野さん）

情報、区民にひた隠し

日本共産党豊島区議 河野たえ子さん



庁舎は、住民にとって
使いやすい職員には働き
やすいコンパクトで住民
に親しまれるところにな
ってはなりません。しか
し、現区長は、池袋の再
生を大上段に、新庁舎
建設を開発の起爆剤に位
置づけています。ようす

に、池袋に「お客」を
たくさん集め、企業中心
のまちづくりを進めたい
ということ。これは、破
綻した小泉構造改革と本
質的に同じであり、間違
っています。
資金計画も現庁舎と公
会堂の土地を50年の定期
借地権で商業施設に「貸
す」としていますが、土
地の価格がどんどん下が
っています。しかも、事

再開発の名で地上げ

NPO法人区画整理・再開発
対策全国連絡会議事務局長

遠藤 哲人さん



か。
「構造改革」と言われ、
1997年の建築基準法
の改正、2002年の都
市再生特別措置法の制定
など法律が変わりまし
た。それによって、地上
げなどを法律にもとづ
き、行政がやらされてい
るといのが現実です。
簡単に言えば、再開発の
特徴は地上げであり、住
民を追い出すためのもの
です。この庁舎建設では、
再開発事業は公有地をデ
イベロッパーに売り渡す
しくみとして使われてい
ると言えます。

「築47年」は古くない

住まいとまちづくりコープ 千代崎一夫さん



計画の進め方が非常に
拙速（せつそく）ではな
いかと思います。共産党
が区に開示請求をした
ら、細かな数値が真っ黒
に塗られた資料が出され
てきました。情報を出さ
ないのです。再開発のス
タート時点で、区民に情
報を知らせず新庁舎建設
をどんどん進めている、
これでいいのでしょうか

業計画はひたかくしにし
て、共産党が情報を出す
よう求めても、できた
のは真っ黒に消した墨塗
りの情報です。これでは
住民本位の庁舎建設計
画ではありません。
現庁舎の「築47年」は
23区で最も古いと言いま
すが、良いことです。古
くはありません。立教大
学（本館など）は築91年。
自由学園の木造の校舎は
築88年で、区役所の2倍
以上も長持ちしていま
す。区が「古い」という

豊島区新庁舎 整備計画とは

新庁舎建設（予定地
・南池袋）は、市街地
再開発事業として約4
10億円をかけ、18
5階の超高層ビルの3
～9階までを新庁舎、
10～42階までを分譲マ
ンションとする計画。
区は2年後に着工しよ
うとしています。

庁舎だけではなく、豊
島区全体でもECOで温
暖化を阻止するまちづく
りでなければなりません。
超高層ビルは逆行し
ています